

- 〈関西チャレンジ〉
- ① 強みで貢献
- ② 強みを活用
- ③ 強みを発揮

チャレンジ	事業名(担当課名)等	事業目的	事業概要	中間実績	実績（予算額及び決算額(千円)／目標・成果）					
					年度	R2	R3	R4	R5	R6
①	関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業 (スタートアップ支援課) 〈事業実施期間〉 R3.4～R7.3 (通年) 〈事業開始年〉 R3	関西スタートアップ・エコシステムの魅力・ポテンシャル・将来性を国内外へ発信し、他エリアと差別化し、国内外の様々なリソース(スタートアップ、企業、人材、投資家、ベンチャーキャピタル等)の集積を可能とするブランドを確立することで、関西経済の活性化をめざす。	関西スタートアップ・エコシステム情報発信戦略に基づき、R6年度は次の事業を実施。 (1) 域内スタートアップの情報収集・スタートアップDBへの登録 関西地域のスタートアップをピックアップした後、STARTUP DBへの登録有無を照合し、未登録企業のチェック及び登録作業を実施 Crunchbase等海外有力データベースへの関西スタートアップの登録 (2) 国内カンファレンスやピッチイベント等での情報発信 スタートアップイベントを活用し情報発信。年3回開催予定 (3) Crunchbase等の海外メディアへの情報発信 海外メディアへの「掲載のされやすさ」を考慮した記事を作成し発信。年2回発信予定。 (4) 関西スタートアップ・エコシステムの情報発信イベントの開催 情報発信戦略の内容を踏まえ、関西の強み等を訴求するコンテンツを企画し情報発信する。年1回開催予定 (5) 関西スタートアップ・エコシステムポータルサイトの運営 等 構成府県市のポータルサイトの利活用促進及び本ポータルサイトの機能性等の向上を行う	【中間実績】 【目標】 (1)域内スタートアップの情報収集・スタートアップDBへの登録(累計240社)、Crunchbase等海外有力データベースへの登録(累計220社) (2)国内カンファレンスやピッチイベント等での情報発信(3回程度／年) 国内イベント「KANSAI Startup Night」(スタートアップピッチ、トークセッション)を開催 (3)Crunchbase等の海外メディアへの情報発信(半期に一度) (4)関西スタートアップ・エコシステムの情報発信イベントの開催(1回／年) 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) (1)域内スタートアップの情報収集・スタートアップDBへの登録作業を進めている(◇) (2)情報発信イベント「KANSAI Startup Night」ほか 第1回 開催日：令和6年7月11日(◆) 開催場所：CIC Tokyo(リアルおよびオンライン) 第2回 開催日：令和6年9月19日(◆) 開催場所：CIC Tokyo(リアルおよびオンライン) 第3回 開催日：調整中(◇) 開催場所：調整中 (3)36Krにて「KANSAI Startup Night」の取材記事掲載(日本語、英語、中国語)(◆) Crunchbaseへ記事を寄稿予定(◇) (4)関西スタートアップ・エコシステム情報発信イベントを開催予定(◇)	予算額	-	10,027	10,818	13,043	14,043
					決算額	-	9,978	10,799	12,769	-
					目標	-	-	①50社 ②4回 ③2回 ④1回	①220社 ②3回 ③2回 ④1回 ⑤205社	①240社 ②3回 ③2回 ④1回 ⑤220社
					成果(期末)	-	-	①205社 ②4回 ③2回 ④1回	①472社 ②3回 ③2回 ④1回 ⑤299社	-

チャレンジ	事業名(担当課名)等	事業目的	事業概要	中間実績	実績（予算額及び決算額(千円)／目標・成果）					
					年度	R2	R3	R4	R5	R6
①	ライフサイエンス分野における関西のポテンシャルの発信・強化 (ライフサイエンス産業振興課) 〈事業実施期間〉 R6.10.9～11 〈事業開始年〉 R3	関西の強みであるライフサイエンス分野のポテンシャルを発信し、国内外における関西の認知度・存在感の向上を図ることにより、域内への投資、企業立地の促進につなげ、域内関連産業の振興を図る。	欧州を含む海外諸国や日本全国から参加がある「BioJapan」の場で、国内外に向けた情報発信やビジネスマッチングを支援する。 (1) 開催場所 パシフィコ横浜 (2) 出展対象 医薬・創薬、食品/農林水産/畜産、研究用機器・試薬・消耗品/設備など (3) 内容 ア 域内企業 参加 12社 関西広域連合ブースでの展示及びパートナーリングシステムを活用したビジネスマッチング イ セミナー開催 関西のライフサイエンス分野のポテンシャル・認知度向上を目的としたセミナー ウ ブース出展 関西のライフサイエンス分野のポテンシャル・認知度向上を目的としたブース 「メディカルジャパン」は、R5以降、参画見送り	〔中間実績〕 【目標】 ・BioJapanマッチング件数:参加企業数×6倍以上 ・BioJapan期間中、関西広域連合ブースに誘引するため関西広域連合のパンフレットを手交:300部以上 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) 「BioJapan2024」パートナーリングへの参加、セミナーの開催(◇) ・広域連合域内企業12社が参加 ・関西のライフサイエンス分野のポテンシャル・認知度向上を目的としたセミナー 発表題目:関西発「Bioeconomy Hub Japan 2025 開催」～バイオによるイノベーションがプラネタリーヘルスをどう実現するか～ 講師:坂田 恒昭氏 (NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議理事長、大阪大学共創機構特任教授) ・関西広域連合ブースの出展 《BioJapan2024》 開催日:2024年10月9日～11日 開催場所:パシフィコ横浜 ※参考:BioJapan2023 出展社数 1,040社 来場者数16,138名	予算額	18,562	7,135	7,286	1,339	2,866
					決算額	20,920	8,179	7,108	1,305	-
					目標	・メディカルブース来場者数:3,400人以上 ・セミナー発表数:1.4倍以上	バイオ・マッチング件数:参加企業×6倍以上	バイオ・マッチング件数:参加企業×6倍以上	参加企業×6倍以上	・BioJapanマッチング件数:参加企業数×6倍以上 ・BioJapan期間中、関西広域連合ブースに誘引するため関西広域連合のパンフレットを手交:300部以上
					成果(期末)	4,797人 1.3倍	7倍	16.6 倍	10.8倍	-

チャレンジ	事業名(担当課名)等	事業目的	事業概要	中間実績	実績（予算額及び決算額(千円)／目標・成果）					
					年度	R2	R3	R4	R5	R6
①	「カーボンニュートラル研究成果事業化促進フォーラム」の実施 (グリーン産業振興課) 〈事業実施期間〉 R6.12.9 〈事業開始年〉 H25	関西が高い産業ポテンシャルを有するグリーン分野において、域内を中心とした大学・研究機関等の研究成果を域内の企業に広く発信し、シーズの事業化を促進する。	水素・燃料電池、蓄電池等の「カーボンニュートラル」に資する技術をテーマとし、域内の大学、研究機関等の研究者による発表と、実用化を目指す最新の研究成果を紹介し、参加者とのマッチングを目指す。 (1) 開催場所:大阪工業大学 梅田キャンパス (2) 対象者:水素・燃料電池、蓄電池等の関連市場への新規参入、自社技術の新たな展開を望む企業及び産学連携や企業支援を推進する関係団体 (3)内容 ア 特別講演 カーボンニュートラル関係 1講演 イ 研究成果発表 水素・燃料電池関係等 計6本 ウ 名刺交換会・情報交換	〔中間実績〕 【目標】 「カーボンニュートラル研究成果事業化促進フォーラム」の実施 ・参加者:210人以上 ・参加者アンケートの「今後の事業活動に有益な情報を得ることができた」と回答した割合:70%以上 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) 「カーボンニュートラル研究成果事業化促進フォーラム」の開催(◇) 開催日:令和6年12月9日 開催場所:大阪工業大学 梅田キャンパス OIT梅田タワー常翔ホール ※会場に参加者を受け入れながら、WEBで同時配信する予定。 内容:「水素・燃料電池、蓄電池等のカーボンニュートラルに資する技術」をテーマとした研究成果発表会、特別講演 等 特別講演講師:大阪ガス株式会社 エネルギー技術研究所 所長付 エグゼクティブフェロー 大塚 浩文 氏	予算額	2,043	1,840	1,785	1,780	1,781
					決算額	1,543	1,175	1,203	1,073	-
					目標	【目標】 ・参加者数:200人以上 ・マッチング件数:フォーラム発表数×〇倍以上				・参加者:210人以上 ・参加者アンケートの「今後の事業活動に有益な情報を得ることができた」と回答した割合:70%以上
					成果(期末)	208人 6倍	201人 7.7倍	208人 4.8倍	234人 11.6倍	-

チャレンジ	事業名(担当課名)等	事業目的	事業概要	中間実績	実績（予算額及び決算額(千円)／目標・成果）					
					年度	R2	R3	R4	R5	R6
②	関西広域産業共創プラットフォーム事業の推進 (ものづくり支援課、産業振興企画課) 〈事業実施期間〉 R4.11～R7.3 (通年) 〈事業開始年〉 R4 ※「産業技術支援フェア in KANSAI」は、R2年度、かんさいラボサーチはR3年度から	公設試や大学、産業支援機関、金融機関など様々な機関が連携し、入り口(研究シーズ、市場ニーズ)から出口(事業化)までシームレスに企業を支援する広域的なプラットフォーム「関西広域産業共創プラットフォーム」を構築し、イノベーションが生まれる環境の創出を図る	〔背景〕 これまで関西広域連合域内の公設試について集約・検索機能も備えた情報発信、バーチャルで一体的に見せる視点によるポータルサイト「かんさいラボサーチ」の構築などの取り組みを行ってきたところだが、さらなる事業化支援の取組の充実が求められている。 〔事業概要〕 (1) 企業ニーズに応える事業化支援強化事業 ア 企業相談対応 令和4年11月、統括ディレクター1名、連携コーディネーター7名、公設試の長及び実務担当者などにより構成されるセンター機能を立ち上げ、ものづくり支援課を事務局として、相談受付を開始 ※令和6年9月末時点:統括ディレクター1名、連携コーディネーター10名 イ ポータルサイト「かんさいラボサーチ」の運営 「かんさいラボサーチ」上に上記アの専用HPを設定 ウ 産業技術支援フェア ・開催日:11月15日 ・開催場所:大阪産業創造館 ・内容:パネル展示、講演会、ミニシンポジウム (2) 広域的プロジェクト組成に向けた調査事業 社会課題の解決に寄与する広域的プロジェクト組成候補を調査 (3) 公設試・連携機関との連携促進のための活動・PR等 域内公設試の合同見学・交流会を実施するとともに、本プラットフォームを幅広くPR	〔中間実績〕 【目標】 ・プラットフォーム利用企業の満足度:80%以上 ・「かんさいラボサーチ」アクセス件数:23,000件以上 ・公設試のシーズに対する企業ニーズとのマッチング(面談)の件数:30件以上 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) (1) 企業ニーズに応える事業化支援強化事業(◇) ア 企業相談対応 ・本プラットフォームの利用件数46件(9月末時点見込) ・利用企業の満足度:84.6%(9月末時点見込) イ ポータルサイト「かんさいラボサーチ」の運営 ・「かんさいラボサーチ」のアクセス件数:13,796件(9月末時点見込) ウ 産業技術支援フェア in KANSAI 2024 ーものづくり×「いのち輝く未来社会のデザイン」ー(◇) 開催日:令和6年11月15日 開催場所:大阪産業創造館 (2) 広域的プロジェクト組成に向けた調査事業(※委託事業)(◇) ・公募型プロポーザルにより受託業者がリンカーズ㈱に決定 ・公設試のシーズに対する企業ニーズとのマッチング(面談)の件数:8件(9月末時点見込) (3) 公設試・連携機関との連携促進のための活動・PR等 ア 公設試職員向け研修・交流会 ・開催日:令和6年6月21日(◆) 開催場所:和歌山県工業技術センター 参加者:46名 ・開催日:令和7年1月(◇) 開催場所:徳島県立工業技術センター イ 事業のPR(◇) ・「産総研・関経連うめきたサイト(仮称)」開設記念イベント内にてPR予定 開催日:令和6年10月21日 開催場所:産総研・関経連うめきたサイト(仮称) グラングリーン大阪 北館 JAM BASE 4階 対象者:企業(中堅・中小企業、スタートアップ)大学、支援機関 等	予算額	5,418	1,839	23,583	22,634	23,134
					決算額	6,116	2,111	10,769	19,847	-
					目標	産業技術支援フェア Web講演会 視聴者数:250人以上	・産業技術支援フェア 参加者数:250人以上 ・「かんさいラボサーチ」 アクセス件数:23,000件以上	・産業技術支援フェア 参加者数:250人以上 ・「かんさいラボサーチ」 アクセス件数:23,000件以上	・PF利用件数:100件以上 ・企業の満足度:80%以上 ・「かんさいラボサーチ」 アクセス件数:23,000件以上	・PF利用企業の満足度:80%以上 ・「かんさいラボサーチ」 アクセス件数:23,000件以上 ・公設試等のシーズと企業ニーズのマッチング(面談)数:30件以上
					成果(期末)	281人	402人 19,494件	471人 21,504件	102件 100% 25,829件	-

チャレンジ	事業名(担当課名)等	事業目的	事業概要	中間実績	実績（予算額及び決算額(千円)／目標・成果）					
					年度	R2	R3	R4	R5	R6
②	ものづくりをはじめとする地域魅力の発信 (国内プロモーションの実施) (ものづくり支援課) 〈事業実施期間〉 R6.9.21～R6.9.23 〈事業開始年〉 H29	関西が誇るものづくり技術やプロダクトの魅力を発信し、地域に根差した地場産業や伝統工芸のワークショッピイベントを通じて、関西のものづくり産業のポテンシャルをPRする。	関西が誇るものづくり技術やプロダクトのコアユーザーをより増やすため、関西国際空港にて、地域に根差した地場産業や伝統工芸等をパネルや製品展示で紹介するとともに、ワークショップを行うイベントを開催する。 開催場所：関西国際空港 第1ターミナルビル1階 国際線・国内線到着フロア 対象者：訪日外国人・国内旅行者 内容：①地場産業・伝統工芸に係る情報紹介及び製品展示 (12構成府県市＋石川県) ②ワークショップイベント (滋賀県・京都市・大阪府・兵庫県・和歌山県・石川県)	〔中間実績〕 【目標】 ワークショップ参加者数：100人以上 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) 「KANSAI ものづくり フェア 2024」を開催(◆) 関西広域連合の構成府県市に石川県を加えた全13府県市の地域に根差した地場産業や伝統工芸をパネルや製品展示で紹介。また、関西広域連合の構成府県市及び石川県の中からピックアップした6者による地場産業や伝統工芸に係るワークショップを開催。 開催日：令和6年9月21日～23日 開催場所：関西国際空港 第1ターミナルビル1階 国際線・国内線到着フロア ワークショップ参加者数：163人	予算額	3,324	3,117	3,860	4,692	3,883
					決算額	3,002	3,345	3,300	3,435	-
					目標	8,200人	-	9,000人	17,000人	100人
					成果 (期末)	9,060人	9,648人	15,540人	17,751人	-
②	ものづくりをはじめとする地域魅力の発信 (海外プロモーションの実施) (経済交流促進課) 〈事業実施期間〉 【PRツール (WEBページ)作成】 R6.10月中旬～ R7.3.31 〈事業開始年〉 H29	関西が有するものづくりをはじめとする産業資源や世界遺産などの観光資源、歌舞伎や文楽などの歴史・文化資源などの魅力を発信し、広くその認知を進める。	2025年大阪・関西万博の開催を機会に、海外政府機関等が派遣するビジネスミッション等に向けて、構成府県市における各地域に根ざした産業や、高い技術力を誇る企業等の産業視察先の情報をとりまとめたPRツールを作成することで、域内企業と海外企業等とのビジネス交流機会の創出につなげる。 各構成府県市単独ではなく、関西広域連合において情報を一元化してPRすることにより、個性豊かな各地域それぞれの特色を一目で見やすく提供することができる。 対象者：関西広域連合域内における、高い技術力を誇る企業や日本初(世界初)のアイデア・商品などの展示施設、体験型のオープンファクトリーなど 内容：関西広域連合ホームページ(https://www.kouiki-kansai.jp/index.html)内において掲載する、海外政府機関等が派遣するビジネスミッションや、海外ビジネス関係者に向けて、関西の高い技術力を誇る企業や、特色あるアイデア・商品などの展示施設等を中心とした視察や見学が可能である企業・施設・研究機関等の情報を盛り込んだWEBページを作成予定	〔中間実績〕 【目標】 (当初)海外向けウェブサイト閲覧数：2,000件以上 (変更後)PRツールにおいてとりまとめる視察先：30件以上 【目標変更の理由】 既存の産業視察先情報発信ツールの活用、連携を含めたPRツールの作成を検討し、10月頃のWEBページオープンをめざしていたが、ターゲット層に向けたより高い訴求効果をあげるためには、企画提案型公募(プロポーザル方式)により独自のPRツールを作成することが必要と判断し、公募手続きに時間を要することとなり、ツールの完成が3月頃になったため。 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) 関西広域連合域内の産業視察等に係る海外向けPRツール作成業務の実施(◇) 事業期間：契約日(令和6年10月中旬頃を予定)から令和7年3月31日 内容：左記内容に基づき、委託事業者選定のための企画提案型公募(プロポーザル方式)を実施	年度	R2	R3	R4	R5	R6
					予算額	3,555	3,555	3,449	3,449	3,449
					決算額	1,166	3,270	2,927	3,924	-
					目標	—	展示販売 (テストマーケティング) 会場への来場者数：500人	リアル展示 販売会場における関西広域連合ブースへの総来場者数：1,000人以上	オンラインストア 関西広域連合ブランドページへのアクセス数：17,500件以上	PRツールにおいてとりまとめる視察先：30件以上
					成果 (期末)	セミナー受講者数：のべ374人	60人	— 急遽会場の事情により ブース出展不可となったため。 ＜参考＞会場全体の来場者数 約8,700名 ※コロナ前の5割増	展示会場来場者数 116,927人 オンラインストア閲覧数 69,934件	-

チャレンジ	事業名(担当課名)等	事業目的	事業概要	中間実績	実績（予算額及び決算額(千円)／目標・成果）					
					年度	R2	R3	R4	R5	R6
② ③	大阪・関西万博に向けた文化発信イベントへの参画 (産業振興企画課) 〈事業実施期間〉 R7.2.23 〈事業開始年〉 R6	他分野事務局と連携した万博関連のイベント開催を通じて、関西の魅力や産業のポテンシャルを広く国内外に発信する。	関西のものづくり産業等の魅力向上のため、広域観光・文化・スポーツ振興局が行う大阪・関西万博に向けた文化発信イベント「KANSAI感祭 in OSAKA」において、展示会等を開催する。 (1)ものづくり作品展の開催(文化課との連携事業) 開催場所:大阪南港ATCホール(大阪市) 対象者:ものづくり企業、高校生、イベント来場者 内容:ものづくり企業の製品に、高校生のデザインやアイデアを反映したオリジナルの製品を作成。 自身のデザインを製品化する体験を通じて、高校生のものづくりへの関心を高めるとともに、来場者等へものづくり企業の技術力をPRする。 (2)日本酒関連事業者と公設試の連携促進(農林水産部との連携) 開催場所:大阪南港ATCホール(大阪市) 対象者:日本酒関連事業者、域内公設試、イベント来場者 内容:各公設試の酵母研究等をパネル展示するとともに、公設試が商品化にかかわった日本酒の展示及び試飲会を開催することで、公設試の持つ技術力をPRし、イベントに出展・参加されている関係者との新たな連携をめざす。	〔中間実績〕 【目標】 (1)ものづくり作品展 ものづくり企業への興味・関心が高まったと回答した学生の割合:75%以上 (2)日本酒関連事業者と公設試の連携の促進 (当初)ブース来場者数:1,500名 (変更後) ・ブース来場者数:500名 ・公設試の取組について理解・関心が深まったと回答した方の割合:75%以上 【目標変更の理由】 広域観光・文化・スポーツ振興局が行うイベントの開催期間が、当初予定されていた3日間から1日に変更となったことに伴い、ブース来場者数の目標数値を変更 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) (1)ものづくり作品展 ・ものづくり企業への参加依頼(◆) ・高校生へのデザイン募集(◇) ・デザインを選定し、ものづくり企業と高校生が共同で製品を作成 令和7年2月に開催される「KANSAI感祭 in OSAKA」で展示会を実施 (2)日本酒関連事業者と公設試の連携促進 ・公設試展示パネルの追加作成(◆) ・試飲用日本酒の発注(令和7年1月発注予定)(◇) 《KANSAI感祭 in OSAKA》 開催日:令和7年2月23日 開催場所:大阪南港ATCホール(大阪市)	予算額	-	-	-	-	5,756
					決算額	-	-	-	-	-
					目標	-	-	-	-	・ものづくり企業への興味・関心が高まったと回答した割合:75%以上 ・ブース来場者数:500名 ・公設試の取組について理解・関心が深まったと回答した方の割合:75%以上
					成果(期末)	-	-	-	-	-

チャレンジ	事業名(担当課名)等	事業目的	事業概要	中間実績	実績（予算額及び決算額(千円)／目標・成果）					
					年度	R2	R3	R4	R5	R6
② ③	広報活動やセミナー等による情報発信 (産業振興企画課) 〈事業実施期間〉 通年 〈事業開始年〉 — ※「from NOW ON KANSAI」の発行はR2から	関西広域連合域内の中堅・中小企業に有益な情報提供をするため、広域産業振興局や構成府県市の取組を域内外に向けて発信するとともに情報紙の発行やセミナーを実施する。	(1)広報活動の実施 広域産業振興局や構成府県市の施策、関西の産業情報等について、ホームページの更新やメールマガジン・SNSの配信、および広報紙等の作成により、域内外に向け、最新情報の提供を行う。 (2)ビジネス情報誌「from NOW ON KANSAI」の発行等による情報発信 域内企業にとって有益な情報を収集し、ビジネス情報紙「from NOW ON KANSAI」として発行する。 ア 配布先：構成府県市、経営支援機関や公設試、商工会・商工会議所、金融機関など イ 発行部数：9,000部 ウ 全4回発行 (3)セミナーの開催 域内中小企業が直面する課題をふまえ、事業経営に役立つセミナーを開催	〔中間実績〕 【目標】 ・情報紙読者の満足度：75%以上 ・WEBセミナー視聴者数：200回以上 満足度：75%以上 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) (1)情報発信 ・広域産業振興局HPアクセス件数：6,080件(9月末見込)(◇) ・関西広域連合広域産業振興局NEWS(メールマガジン)を配信(月2回)(◇) ・メールマガジンと連動した、SNS(Facebook、Twitter、Instagram)を活用した各種情報発信(◇) ・産業用地・ファンド等情報提供 (2)from NOW ON KANSAI」の発行(◇) 第14号 令和6年10月上旬 第15号 // 11月下旬 第16号 令和7年1月下旬 第17号 // 3月下旬 (3)セミナーの開催(◇) 開催日：10月29日(ライブ配信) 11月11日～3月31日(アーカイブ) 内 容：外国人雇用・育成就労制度について 対 象：中小企業、中小企業支援機関 等	予算額	1,722 (うち、「from NOW ON KANSAI」の発行は1,177)	1,855 (うち、「from NOW ON KANSAI」の発行は1,396)	2,026 (うち、「from NOW ON KANSAI」の発行は1,376)	4,791 (広報系事業を集約)	4,785
					決算額	1,533 (うち、「from NOW ON KANSAI」の発行は1,492)	1,876 (うち、「from NOW ON KANSAI」の発行は1,452)	1,843 (うち、「from NOW ON KANSAI」の発行は1,426)	2,945	-
					目標	①情報誌発行回数：3回以上 ②産業人材HPアクセス件数：2,600件以上 ③広域産業振興局HPアクセス件数：27,000件以上	①情報誌発行回数：3回以上 ②産業人材HPアクセス件数：2,600件以上 ③広域産業振興局HPアクセス件数：30,000件以上	①情報誌発行回数：3回以上 ②産業人材HPアクセス件数：2,600件以上 ③広域産業振興局HPアクセス件数：30,000件以上	・広域産業振興局HPアクセス件数：30,000件以上 ・情報紙読者の満足度：75%以上 ・WEBセミナー視聴者数：1,000人以上	・情報紙の読者満足度：75%以上 ・WEBセミナー視聴者数：200回以上 満足度：75%以上
					成果(期末)	①3回 ②2,745件 ③33,072件	①3回 ②2,938件 ③29,088件	①3回 ②2,535件 ③29,922件	・広域産業振興局HPアクセス件数：21,867件以上 ・情報紙読者の満足度：100% ・WEBセミナー視聴者数：1,328人以上	-